

サステナビリティ

Sustainability Report

[レポート]

2023

株式会社 平プロモート

目次

contents

- トップメッセージ ----- 1
- 組織・事業内容 ----- 2
- ビジネスモデル ----- 2
- マテリアリティ ----- 3
- KPI ----- 3
- 環境 ----- 4
- 社会 ----- 5
- ガバナンス ----- 9

トップメッセージ

Top message

持続可能な社会の実現のため、
「DX開発・サービスデザインを通じ企業様のビジネスの橋渡し」を

代表取締役 平 知恭



ステークホルダーから選ばれ続ける会社

急速に変化する現代社会において、私たちが直面する課題は多様化するとともに、高度化・複雑化を繰り返しています。ビジネスの在り方も大きく変化してきており、ステークホルダーから真に必要なとされる企業であり続けるためには、社会における様々な課題を特定し、その解決に資する価値を提供するビジネスモデルが求められています。

今後、社会や企業がDXをはじめとする様々な変革を進めていくにあたり、当社が果たす役割は今まで以上に重要になっていくものと考えています。当社はサステナビリティ経営を導入すると共に、社会の中で貢献できる領域をしっかりと定め、自社が有するアセットと技術力を駆使して、価値のあるソリューションを提供していきます。

当社を取り巻く環境と事業展開

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、社会や産業構造、企業経営の在り方に大きな変化をもたらしました。DXの加速、非対面ビジネスの普及拡大、働き方の多様化、これらの変化は当社にとってプラスに働いた面もありました。主力業務であるマニュアルの制作においては、集合研修等ができない状況下で、マニュアル電子化や動画制作のニーズが加速しました。また、当社では従来からリモートワークが浸透していたため、感染症発生等の想定外の事態においても事業継続が可能な組織体制であることも分かりました。

今後の事業展開において大きく成長を見込むのは、AI・ヘルステック事業、中でも医療・介護分野の需要が高まると考えています。特に介護現場における危険予測システムは、高齢化がますます加速していく状況において必要不可欠なソリューションであると考えています。また、すでに収益の柱となっているマニュアル制作分野も、DX拡大の流れの中でさらなる経営資源を投下し、イノベーションを加速させていきます。

強みの源泉「人的資本経営」

サステナブルな社会の実現に向けて価値を提供し続けるための源泉は、「人的資本」です。高度に複雑化する社会課題の解決には、これまでの常識を超えたクリエイティブな発想が必要になります。その鍵となるのは一人一人の状況に応じた柔軟な働き方の実現であり、様々な世代や性差、人種を超えた多様な人財が活躍できる組織づくりが重要になります。自身の仕事に誇りを持ち、ワークエンゲージメントが充実し、高いパフォーマンスを発揮するために、ミッションである「DX開発・サービスデザインを通じ企業様のビジネスの橋渡し」の実現を目指し、「平プロモートで働いていて本当に良かった」と思える会社をつくっていきます。

サステナビリティ経営で社会課題解決を目指す

サステナビリティ経営は持続可能な社会実現のための価値創造であり、さまざまな社会課題解決により自社のさらなる成長につなげていくものです。平プロモートで働く一人一人がその重要性を理解し、中長期的な生き残りを賭けて行動し、実践することが重要です。私たちは、サステナブルな新しい価値の創造にこだわり、持続可能な社会の実現に向けて歩みを進めます。

ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続き平プロモートの事業活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

組織・事業内容

Organization/business

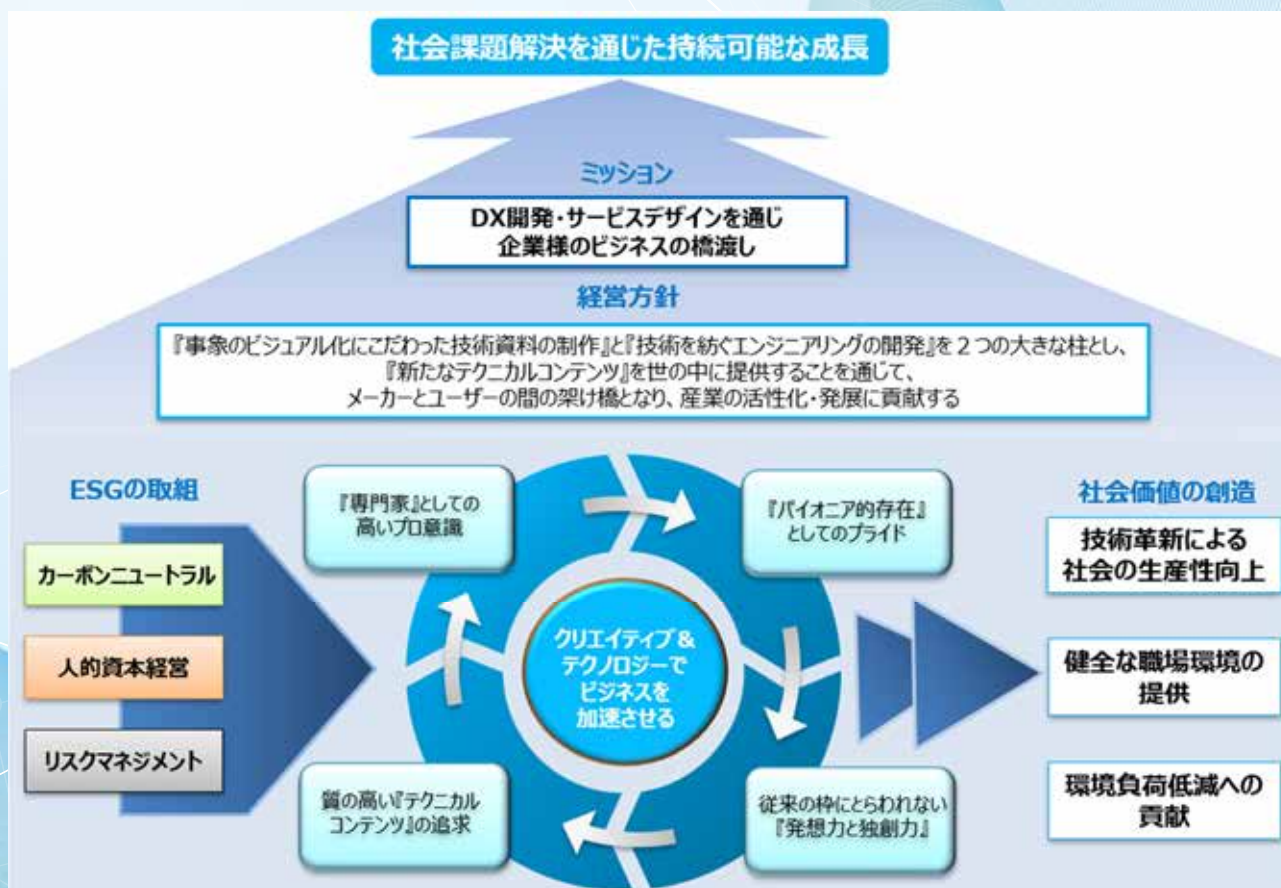
名称	株式会社平プロモート	資本金	1,000万円
代表者	平 知恭	社員数	135名
設立	1991年3月	本社	愛知県知豊田市常盤町一丁目88番地

事業	内容
マーケティング支援	映像コンテンツ、クリエイティブアセット
DX化支援	システム、Webアプリケーション開発
サービス業務支援	標準化・マニュアル化、教育、セミナー運営

ビジネスモデル

Business model

平プロモートは、『専門家』としての高いプロ意識、『パイオニア的存在』としてのプライド、従来の枠にとらわれない『発想力と独創力』、質の高い『テクニカルコンテンツ』の追求を行動指針とし、「DX開発・サービスデザインを通じ企業様のビジネスの橋渡し」をミッション（使命）としています。社会課題の解決を通じた持続的な成長を目指すために、ステークホルダーの方々とのエンゲージメント（建設的な対話）を繰り返し、真に解決すべき社会課題を特定して、クリエイティブ&テクノロジーでビジネスを加速させます。そして、ESGの取り組みを推進することにより、「技術革新による社会の生産性向上」「健全な職場環境の提供」「環境負荷低減への貢献」の社会価値を創造します。社会課題の解決を通じて持続可能な成長を図る、それが平プロモートのビジネスモデルになります。



マテリアリティ

Materiality

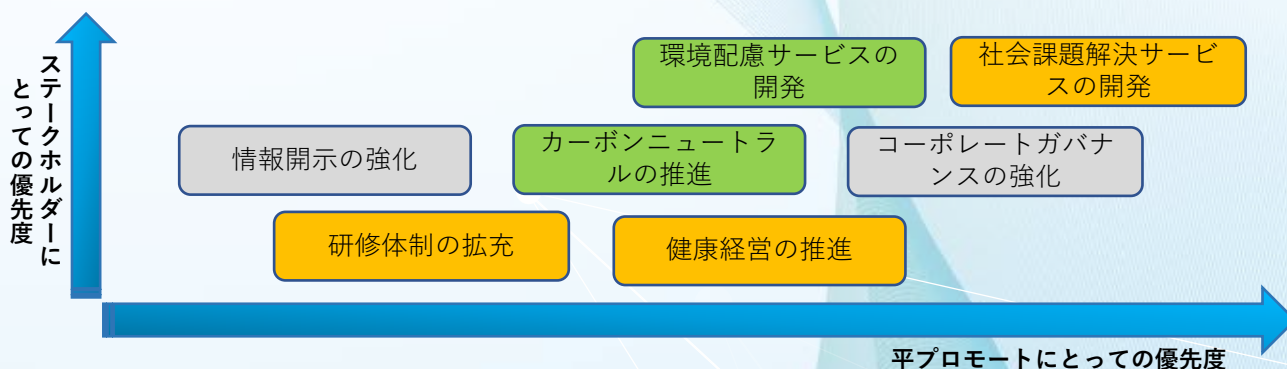
■ リスクと機会の分析

環境・社会・ガバナンス（ESG）の視点を取り入れたサステナビリティ経営を進めるにあたり、ESGに関するリスクと機会を分析しました。様々な角度から分析した結果、以下のリスクと機会を特定しました。

リスク	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 少子化により優秀な人財が確保できない可能性、DX人財の採用コスト高騰 ▶ サイバーセキュリティとデータプライバシーに関連するリスク ▶ 環境への影響と倫理的課題
機会	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 働き方改革によるエンゲージメントの向上、多様な人財が活躍できる企業体質 ▶ 業務のデジタル化、ペーパーレス化ニーズの増加 ▶ サステナビリティを追求した商品、サービスの拡大

■ マテリアリティ（優先順位）の特定

分析したリスクと機会をもとに、優先的に取り組む事項を「ステークホルダーにとっての優先度」、「平プロモートにとっての優先度」でマッピングし、以下のマテリアリティを特定しました。



KPI

KPI

特定されたマテリアリティをサステナビリティ経営の中核として位置付け、社会課題の解決と当社の持続的成長を両輪で回していきます。各マテリアリティにおいてそれぞれKPI（目標）を定め、進捗管理をしていきます。

環境	KPI、主な取り組み
環境配慮サービスの開発	環境配慮に関する新サービスを毎年1つ開発
カーボンニュートラルの推進	2024年までにScope1・2排出量を算定し、削減目標を設定
社会	KPI、主な取り組み
社会課題解決サービスの開発	社会課題解決に関する新サービスを毎年1つ開発
健康経営の推進	健康経営優良法人2024の認定取得
研修体制の拡充	職位・職種に応じた研修体制の構築
ガバナンス	KPI、主な取り組み
コーポレートガバナンスの強化	リスク・コンプライアンス委員会の定例開催（年4回）
情報開示の強化	サステナビリティの取り組みの発信強化

環境市場機会

■ 環境に配慮した製品

平プロモートの主力製品である「Kupu」は、ノウハウを瞬時にマニュアル化することを可能とした手順・作業品質管理アプリです。従来、マニュアルの作成は紙ベースで行われ、手順を確認するためプリントアウトをして使用することが大半でした。KupuはPCやタブレットで閲覧ができるため、大幅なペーパーレスを実現できます。誰でも簡単に手順書・作業指示マニュアル・教育用テキスト・品質管理マニュアル等を作成できるため、様々なノウハウ共有にも役立ちます。ユーザー様からは、「これまでExcelや紙の帳票を用いて行ってきましたが、評価のばらつきや国を跨いだ集計の煩雑さで多くの時間を費やしており、Kupuの自由な項目設定や高いカスタマイズ性により効率の高い評価工程を実現しています」と評価をいただいています。



カーボンニュートラルへの取り組み

■ 省エネの実施

カーボンニュートラルへの取り組みとして省エネを全社的に進めています。エネルギー使用量削減のため、LED照明への切替、エコドライブの実践、各種ペーパーレス化による紙使用量の削減、社用車のFCV（燃料電池車）導入等を行っています。また、インバーターとバッテリー充電器を使用して、夜間電力を充電して昼の電気使用ピーク時に使用する取り組みを実施しています。全社員に節電意識の醸成も行っており、日々のエネルギー使用量の削減を進めています。



LED照明



トヨタ「MIRAI」



バッテリー充電器

■ 電力使用量の管理と削減

当社では、毎月の電力使用量を管理しており、現状の数値を把握することにより、削減に向けた取り組みを進めています。省エネの取り組みが奏功し、毎年順調に削減ができています。



廃棄物の管理

■ 紙の廃棄量の削減

当社は、ペーパーレスの取り組みを以前から進めています。社内の申請書類は10年以上前から電子申請システムを導入しており、基本的に紙印刷は不可にしています。対外的な契約書類についても2023年から電子契約システムを導入し、電子契約に順次切り替えを進めています。また、FAXについては基本的に使用しない方針をとっています。プリンタの出力数の推移も順調に削減が進んでいます。



■ VOC対策

VOC（揮発性有機化合物）とは、揮発性を有し、大気中で気体状となる有機化合物の総称であり、トルエン、キシレン、酢酸エチルなど多種多様な物質が含まれます。VOCによる大気汚染の状況は深刻であり、それによる人の健康への影響が懸念されています。現に健康被害が数多く届出されており、緊急に対処することが必要とされています。当社としてもこの問題を重要視し、製本を依頼する印刷会社にはVOCが含まれていないインキの使用を依頼したり、ラッピング業務においてVOCを含めない材料を使用することで対策を講じています。

人的資本経営

■ 働き方改革への取り組み

平プロモートでは以前から働き方改革に力を入れています。ワークライフバランスの最適な状態がベストなパフォーマンスを発揮すると考え、仕事とプライベートが両立して働ける環境を長年目指してきました。厚生労働省は働き方改革を「働く方々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で『選択』できるようにするための改革」と定義していますが、まさに当社が長年追求してきた考え方と合致するものです。働き方改革の主要施策である「長時間労働の是正」に関しては以前から削減を進めてきましたし、「多様で柔軟な働き方の実現」についてもリモートワーク等の多様な働き方を整備しています。働き方改革を通じ、人的資本経営を進めていくことが、当社の企業力を高めています。



働きやすい職場環境の整備

ワークライフバランス

■ リモートワーク制度

リモートワークは、コロナ禍以前から実施していました。当社はクリエイター、エンジニアの社員が多く、オフィスでは電話等の対応もあるため、リモートワークの方が生産性が向上すると好評です。リモートワーク制度は管理面で目が届かなくなるとの課題もありますが、当社では以前から全社員のスケジュール管理を実施していたため、リモートワークも問題なく導入ができました。今では社員135名の内40名近くがリモートワークを実施しています。



リモートワーク風景

■ フレックスタイム制度

フレキシブルな勤務体系として、フレックスタイム制を導入しています。当社の通常勤務時間は、9時から18時（休憩1時間）ですが、コアタイム11時～14時をはさめば自分の裁量で始業時間と終業時間を決めることができます。現在、勤務間インターバルを11時間設けることを社内で議論しており、フレックスタイム制ではこれに抵触する可能性もあるため、勤務間インターバル11時間を満たせば勤務時間に裁量を付与する制度も検討しています。

■ サービス残業ゼロ

当社の時間外労働は、月平均で15時間程度です。多い社員でも30時間程度であり、同業他社と比較しても少ない範囲だと考えています。時間外労働に関しては分単位で管理しており、サービス残業はゼロとなるように体制構築をしています。



サービス残業ゼロ

■ ノー残業デー

仕事のメリハリをつけるためにノー残業デーは効果的ですが、当社では社員の裁量を重視しているため会社として制度化はしていません。ただし、各チーム毎の判断で、毎週好きな日をノー残業デーにしているチームもあります。自由な社風で各チームが裁量を持ち、ワークライフバランスの最適化を図りながら、生産性を高めています。

■ 有給休暇取得率70%以上

当社の年間休日は120日です。完全週休2日制（土日休み）で、年次有給、育児・介護休暇等に加え、特別休暇として、慶弔休暇、年末年始・夏季休暇、結婚休暇（5日間の取得が可能）等を設けています。有給休暇の取得率は例年80%台で、取りやすい風土の醸成に努めています。



充実したワークライフバランス



■ 時短勤務の実施

育児・介護、その他理由での時短勤務制度を導入しています。短縮時間は個々人の状況に応じて設定していますが、社員の生活のためにも社会保険の適用対象となる基準を下限としています。時短勤務が成立するためには、管理職や同僚の理解が必要になります。当社ではトップが制度の利用促進を積極的に発信し、社員同士がサポートし合える社風を醸成しています。

ダイバーシティ&インクルージョン

■ 女性の活躍

社員135名中18名が女性で、管理職も1名登用していますが、今後もまだまだ女性の雇用を拡大していきたいと考えています。当社はマニュアル・技術資料を制作するため、「技術を分かりやすく表現する」能力が求められます。そのためには「発想力と独創力」が必要であり、女性が持つ感性、顧客志向や流行への感度は重要になります。女性が働きやすい職場環境をつくり、男女共に活躍する会社を目指しています。



女性の活躍

■ 育児休業制度

仕事と育児が両立できる働きやすい職場環境をつくることは、社員が仕事に集中して十分に能力が発揮できる状態に繋がります。当社では、産前6週間・産後8週間の休暇と産後休業後の時短勤務に加え、産前休業前の時短勤務も取得できる制度を構築しています。男女共に育児休業が取りやすい環境を整備することが重要であり、男性社員も産後パパ育休を100%取得しています。



パパ育休の取得

■ 介護休暇制度

介護休暇は年間5日間取得可能です。当社では以前、親の介護が必要になり悩んでいた社員がいました。会社としても介護と仕事が両立できるようにサポートを続けましたが、最終的には勤務の継続が困難となり退職したケースがありました。それ以来「介護離職をゼロにしたい」との思いで、介護と仕事の両立ができる体制の充実に努めています。

人材育成

■ リスキリング

平プロモートの将来を担う人材を育成するため、業務知識や専門知識の習得促進は重要な経営課題です。人事面談時に、プログラミング試験の受験状況等をヒアリングし、今後のキャリアの中で必要となる試験の受験促進等を対話しています。また、OJTの中で業務上有益な最新の情報を共有したり、リスキリングとしてスキル習得のための情報も提供しています。知識と能力のアップを図ることにより、働きがいの向上につなげています。

健康経営

■ 健康宣言の実施

平プロモートは、社員がいきいきとした状態で働くことができる職場環境を整備するため、健康経営®を進めています。2023年7月に「健康宣言」を実施し、協会けんぽ愛知支部から「健康宣言チャレンジ認定証」の交付を受けました。健康経営は経済産業省が推奨しており、社員の健康保持・増進の取り組みが労働生産性を向上させ、将来的に収益性を高めていく効果を期待できます。

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。



健康経営の推進

■ 健康診断受診率100%

定期健康診断を毎年実施し、社員の健康状態を把握しています。育児休業中等の特別な事情を除き、毎年実施率100%を維持しています。健診の結果、要再検査、要精密検査の対象となった社員には、声掛け・個別メールにより受診勧奨を行っています。また、35歳以上の社員には生活習慣病予防健診を実施し、生活習慣の改善が必要な社員には特定保健指導も案内しています。

人権

■ ハラスメント禁止の徹底

2022年4月、パワハラ防止法の中小企業への適用を受け、あらゆるハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、懲戒処分も規定しました。万が一ハラスメントが発生した際には、組織として厳正に対処する旨を周知しています。相談窓口に関しては、内部相談窓口での相談は避けたい社員の意向を考慮し、保険会社と厚生労働省が実施している外部相談窓口を案内しています。

■ メンタルヘルス研修

ハラスメントのない職場環境を維持するためには、研修等による意識醸成を継続していくことが重要です。当社では、管理職を対象にメンタルヘルス研修を実施し、メンタルヘルスに対する知識の向上と部下への適切な対応の理解を促すことにより、心身ともに良好な職場を目指しています。

■ 公正な人事評価制度

当社の人事評価制度は、自身が設定した目標の達成度と業務遂行能力、業務姿勢を重視しています。目標の設定と達成のため、上司との人事面談は年8回実施しています。しっかりと話し合いながら納得がいく目標を設定し、モチベーションを高めています。目標の達成度に応じて、昇給・昇格等にも反映し、公正な人事制度を目指しています。

労働安全衛生

■ 産業医契約とストレスチェック実施

労働安全衛生の取り組みとして、産業医との契約、ストレスチェックの実施、衛生委員会の開催を行っています。平プロモートの最大の財産は人であり、心身共に健全な状態を維持するため、会社として早い段階で高ストレスのリスクを把握することは重要です。また、産業医についてはリモート産業医と契約をしており、病気等の相談だけでなく、生活習慣についての相談等も対応できるようにしています。

■ 業務災害保険の加入

社員の安全を守ることは会社としての責務であり、当社では万が一に備え、業務災害保険に加入しています。業務災害保険は、基本的には会社が受取人となりますが、当社では個人を受取人としています。これは、保険金を会社が受け取るよりも、労災を受けた社員が直接受け取るべきであるという考えによるものです。また、労災だけではなく社員の個人の被害全てを保険の対象とする契約にしています。保険料は高いですが、社員からは大変好評を得ています。

コミュニケーション

■ 全社員での慰労会の実施

コミュニケーションを促進するため、様々な取り組みを行っています。全社員を対象としたものとしては、年に1回「TPフォーラム」を開催しています。部門毎の総会を実施し、その後慰労会をしています。年に1回全社員が集まるため慰労会は大変盛り上がります。また、社員同士の同好会も活発に活動しています。バイク好きの社員のツーリングチームや、登山チーム、ランニングチームと、各社員の自主的な取り組みとして仕事を離れて交流を深めています。会社としては、同好会活動には社用車を自由に貸与して、部門を超えた社員同士のコミュニケーションの活性化を後押ししています。



TPフォーラム、慰労会、各同好会の様子

社会貢献

■ 被災地への寄付活動

CSR（企業の社会的責任）の取り組みとして、被災地域への寄付活動を実施しています。今までに、2011年東日本大震災、2019年千葉県の大規模被災に対して寄付を行ってきました。被災地には行けないけれど、何とか支えたいという思いを寄付という形で託しています。大規模災害はいつ何時起こるか分からず、当社も被害を受ける可能性があります。大規模災害の際の支援は相互扶助であり、企業としてしっかりと社会的責任を果たしていきます。

■ 「名工大フォーミュラP」への協賛

当社は「名古屋工業大学フォーミュラプロジェクト」にスポンサーとして協賛しています。このプロジェクトは、「社会で活躍できるエンジニアとなる」ことを目的に活動しており、当社としてもその主旨に賛同し協賛をするものです。当社の技術を活かし活動紹介用のプロモーション・ビデオの制作もサポートしました。



SDGs

■ SDGs実現に向けた貢献

平プロモートは、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）に賛同し、2022年1月に「SDGs宣言」を行い、達成に向けた取り組みを推進することを宣言しました。自社の「人権雇用」「サービス・製品」「社会貢献」「環境への配慮」の項目について、目指すべき姿と実践する具体的な取り組みをまとめ、貢献できるSDGsの17のゴールを選定しました。2030年のSDGs達成に向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。



社会課題解決へのサービス

■ 医療・介護現場の安全への貢献

世界でも類を見ない超高齢化社会の日本において、医療及び介護に関する課題は数多く存在しており、その課題解決方法として「ヘルステック」が注目されています。平プロモートでは介護現場に存在するリスクを早期発見し、スタッフが把握することができるア



プリケーションを開発しています。施設利用者の姿勢をAIで解析し、危険に至る前の行動を察知することにより、利用者の状態をスタッフへ速やかに通知が行えるシステムであり、介護の現場のさらなる安心・安全を提供できる仕組みを目指しています。

AIによる「行動解析」と「予兆検知」



施設全体を丸ごとみえる化



サービスメリット

転倒予防と訴訟リスクの回避

動作検知により早く駆けつけて介助することで、転倒事故を低減します。検知履歴情報は保存されるため、転倒リスク要因の解明や対策に活かれます。また事故発生時のエビデンスとなるので訴訟リスクの回避になります。

利用者の心理ストレス低減

夜間や就寝時などにおける確認目的での巡回・訪室を減らすことができるので、利用者にとっては落ち着いた静かな生活が可能になります。

業務環境の改善

利用者の状態でリスクがあるときだけお知らせできるので、夜勤時の巡回やいつ何があるかわからないといった心理的ストレスを改善します。業務環境の改善により離職者の低減や新たな人材の確保に繋がります。

■ e-Genba

シンガポールの現地法人平プロモートシンガポールは、トヨタ自動車様の現地法人トヨタモーターアジアパシフィック様と取引をいただいています。トヨタモーターアジアパシフィック様は、各国に展開する販売店網のサービス・品質の標準化に課題をお持ちでした。従来はシンガポールを拠点とするフィールドマンが世界の拠点を訪問し、サービス・品質の評価を行っていましたが、一定の基準に統一されていない点を改善する必要がありました。その中で、当社とディスカッションを開始し、課題点を洗い出しながら開発した新サービスが「e-Genba」になります。これは、15カ国の販売店サービス品質を評価するためのオンラインDX Toolで、これまでのExcelによる運用を画像と動画による明示で基準を明確化し、オンラインでの正しい評価・記録を可能にしました。入力から集計までリアルタイムで世界中から即時集計でき、転記や再計算を排除し最大効率化、均一な評価を具現化しました。「広域展開する販売店網の標準化」は様々な企業において課題があり、当サービスの展開により社会課題解決を実現していきます。



■ シンガポール次世代ERP

平プロモートシンガポールにおいて、2018年から三菱重工と次世代ERPの開発プロジェクトを進めています。これは、シンガポール政府から、道路渋滞が深刻であり緩和させたいとのミッションを受け、システム構築を開始したものです。国家プロジェクトであり、人工衛星との通信を活用した車両位置情報、車道に設置するカメラ、データ管理するコンピューターシステム、シンガポール国内の車両・オートバイの台数把握等を進めながら、マニュアルに関しても、プロジェクトの総合マニュアルや各種ユーザー用、車両搭載用のマニュアル等の作成が必要です。このシステムが成功すれば他国にも展開が可能であり、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



コーポレートガバナンス

■ ガバナンス体制の構築

平プロモートは、コーポレートガバナンスを企業経営の土台として捉えています。ガバナンスが有効に機能しなくなってしまった企業はもはや存続ができません。ステークホルダーの皆様からの信頼を得て、永続的な取引関係を維持していくためには、透明で客観性の高いガバナンス体制を構築する必要があります。当社では、コンプライアンスの遵守、内部監査機能の構築、リスクマネジメントの強化、情報セキュリティの強化に重点を置き、コーポレートガバナンスの取り組みを強化しています。

情報管理

■ ISO27001の認証取得

平プロモートは2009年にISO27001を取得しました。ISO27001は、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）に関する国際規格で、情報の機密性・完全性・可用性の3つをバランスよくマネジメントし、情報を有効活用するための組織の枠組みを示しています。取得することにより、情報セキュリティに対して国際的な基準でマネジメントを実施している企業として認知されます。当社としても、情報社会が高度化する中、機密情報を含むお客様の大切な情報をお預かりする立場として、情報セキュリティの重要性を認識し、ISO27001の基準を遵守しています。また、毎年定期審査においても大きな指摘は受けていません。



■ 情報セキュリティ基本方針の制定

平プロモートは2022年に情報セキュリティ基本方針を制定しました。サイバーセキュリティのリスクが年々高まる中、情報セキュリティの管理体制を強化しました。ISO27001の目的は、自社を守るための基本ルールを定めることにより、問題発生を未然防止し、各々の情報資産に関する意識を高めることにあります。情報資産を様々な脅威から防御することは、顧客及び社員の権利、利益を守るためにも、また、会社の安定的、継続的な運営のためにも必要不可欠であると考えています。これらの状況を鑑み、当社における情報資産に対する安全対策を推進し、顧客からの信頼を確保し、さらなる会社の発展のため、情報セキュリティ基本方針を制定し、積極的に取り組むことを宣言しました。

■ ChatGPT利用マニュアルの制定

ChatGPTは今後有効なツールとして普及するものと考えており、利用マニュアルを制定しています。通常の使用よりも厳しい基準を適用し、特に顧客の機密情報を検索したり記載することのないように利用方法を徹底しています。

■ セキュリティ対策の勉強会実施

情報セキュリティに関する社員の意識向上を図るため定期的に社員勉強会を行っています。最近のサイバー攻撃事例の共有や、情報漏洩対策の強化等をテーマに実施しています。



セキュリティ対策勉強会

リスクマネジメント

■ リスク・コンプライアンス委員会

リスク・コンプライアンス委員会は、リスク管理とコンプライアンスの維持・確保を目的に、定期的開催しています。当社の事業活動の全側面から想定されるリスクを抽出し、関連部門との情報共有と適正な管理を行い、リスク低減を図っています。コンプライアンスは、法令遵守の範囲だけでなく、社会通念上の良識に照らし合わせ、企業文化として醸成していくことが重要です。リスク・コンプライアンスを組織として適正にマネジメントすることは、ステークホルダーの皆様への安心・信用に繋がります。健全で持続可能な企業となるために危機管理体制を強化しています。

■ 電子メール送受信データの管理

リスク管理の一環として、社員の電子メールの送受信データを定期的に管理・調査しています。万が一不正が行われるとしたら、その兆候はまずはメールに出ます。当社の信用を維持するためには絶対に不正を発生させてはならないので、リスク感応度を高めています。

腐敗防止

■ 取引先との透明な関係性

取引先との関係性の基本方針を制定し、社会通念上常識的な範囲を超える接待・贈答の禁止、不正な金銭の授受の禁止等を定めています。また、反社会的勢力とは一切の関わりを持たない方針を徹底しています。持続可能な企業であるためには、コンプライアンスの遵守は最重要事項の一つであり、常に腐敗防止を意識した事業活動に努めています。

